

第1回 ほし そら だい ちょう さ 星空大調査

本当に星は街で見えないの？

みなさんは、街のなかでどれくらい星が見られると思いますか？「どうせ見えないから」と言って諦めていませんか。

そもそもなぜ星が見えないのでしょうか？

ひとつには、家や街灯などの明かりがたくさんあるからです。それは生活に必要なものですが、それらの明かりが地上を照らす以外に、夜空にたくさんもれているためです。

それ以上に、もうひとつは周りの明るい光に皆さんの目が惑わされて、本当は見えている星まで見失っていることがあります。

では、本当はどれくらい暗い星まで、街で見ることができるのでしょうか。そこで科学館では、郡山を中心に福島県内で星空がどれくらい見えているのかを調べていきたいと考えています。

みなさんの家のあたりでは、どれくらいの星が見えるのでしょうか？ 調査にご協力をお願いいたします。

暗い場所に目を慣らそう！

星を見るときに大切なのは、「暗いところに目を慣らす」ことです。星を見る場所で、街灯や車の明かりなどが目に入る場所では、星をよく見ることはできません。

まぶしい光が目に入らないような場所で、じっくりと星空を見上げるのが、星空をよく見るコツです。

はくちょう座を見つけよう

今回の調査では、はくちょう座を使うことで、星がどれくらいまで見られるか、簡単に調べることができます。

下の図は夜8時ごろの星空です。まずは南を向きましょう。そのまま見上げていくと、頭のま上から西にかけて、明るい星3つで大きな三角を作ります。これが「夏の大三角」です。そして夏の大三角の中にはくちょう座があります。

ウラ面にいき観測開始！



午後8時前後の星空 は1等星

できれば、プラネタリウムで星空のみえかたを確かめておきましょう

< 調査票 >

調査の方法

調査期間：平成 18 年 10 月 14 日（土）～22 日（日）の晴れた夜

（1 日）午後 7 時半～ 8 時ごろ

場 所：家の庭やベランダ・公園など。

（はくちょう座が見えている場所ならどこでも OK）

見るコツ：目を街灯や家・車の明かりなどが目に入らない場所で観察します。目が暗いところに慣れるとだんだん良く見えてくるので、外に出てから 5～10 分後に観測してください。

報告のしかた

FAX あるいは直接、郡山市ふれあい科学館まで、この用紙の下段に記入の上届けてください。✂切は 11 月 12 日（日）です。

（FAX：024-936-0089、TEL：024-936-0201）

〒 _____

住所： _____

氏名： _____ 年齢： _____

観測地： 自宅 ・ その他（場所） _____

電子メールアドレス（あれば） _____

観測日： _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分頃

見えた星（番号） _____

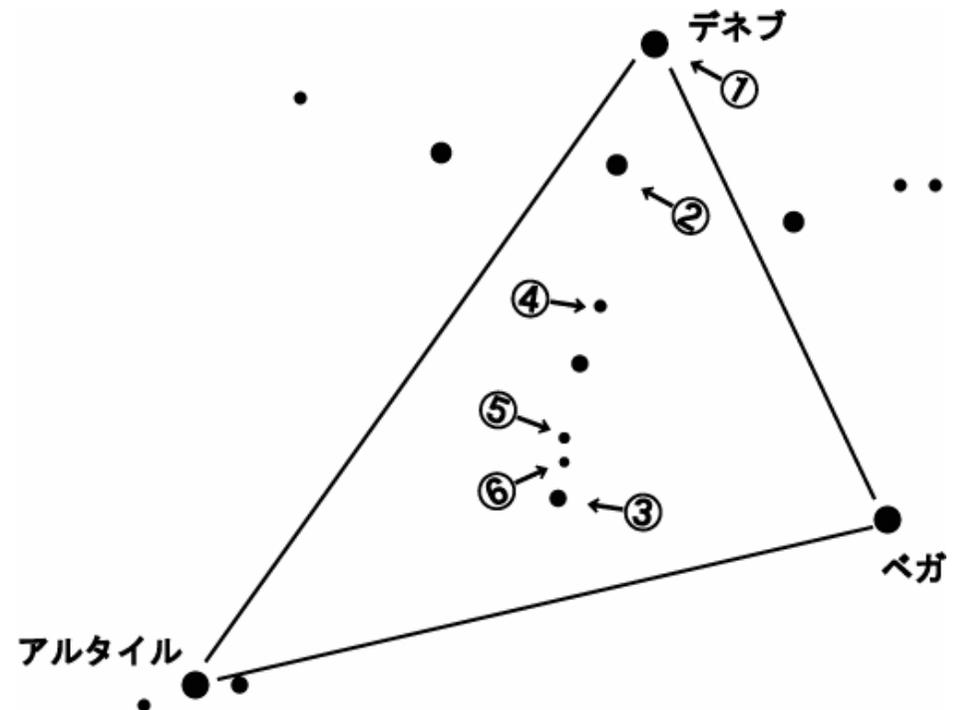
天の川： 見られた ・ 見えなかった _____

住所・郵便番号等は地図に結果を記入する際に使用します。

観測にチャレンジ

まずは夏の大三角を見つけましょう。

次に、はくちょう座を夏の大三角の中に探します。いちばん高いところの星がデネブ、そしてそこから三角の中を見たとき、何番の星まで見られますか？はくちょう座のあたりがぼんやりとしていたら、天の川が見えたこととなります。もし見えたら、それもチェックしてください。



～ は、その星の明るさ（等級）を表しています。まで見えたら、その場所で 5 等星まで見られるということになります。

この調査および調査用紙は名古屋市科学館の「光害大調査」をもとに実施しております。

なお個人情報、この事業以外の目的には使用いたしません。